

# 命の重さに差はありますか

～見つめ直そうこころの内側～

「強制不妊手術」という言葉を聞いたことはありますか？ 優生保護法が存在した時代、こどもを産み育てる権利を認められず、強制的に不妊手術をされた人たちがいました。強制不妊手術の背後にあった優生思想は、今もなお、社会に影を潜めており、多くの人々を苦しめています。

本イベントでは、近年話題になっている「出生前診断」の問題もあわせて考えながら、命の「価値」とは何なのか、そして、誰しも自分の命や意思を尊重される社会とはどのようなものなのかについて、みんなで一緒に考えてみませんか。

## ◆ ◆ 内容 ◆ ◆

講演「強制不妊手術と新型出生前診断をめぐって」 利光恵子さん

対談「障害者の歴史を見つめて今伝えたい思い」 鈴木由美さん、利光恵子さん、  
村田恵子さん

### ★ 鈴木由美さん

1955年9月22日生。脳性小児まひ。1997年より大阪市。生野区で一人暮らしを始める。その後結婚。現在は神戸市在住。24時間介助者を利用して生活。

### ★ 利光恵子さん

優生手術に対する謝罪を求める会／立命館大学生存学研究所客員研究員

### ★ 村田恵子さん

京都頸髄損傷者連絡会会長、DPI女性障害者ネットワークメンバー

2020年3月28日(土) 13:30 (13時開場)～16:30

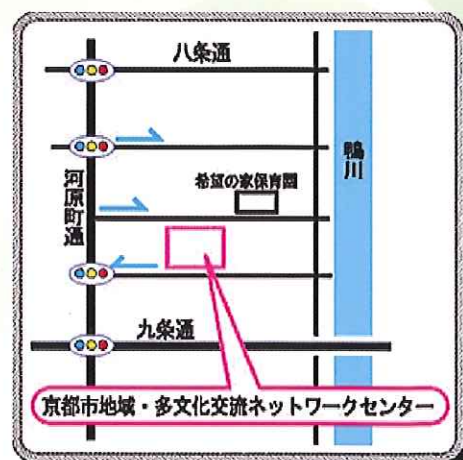
【場 所】京都市多文化交流ネットワーク  
センター 大ホール

【参加費】無料

【定 員】60名

【申 込】必要

※手話通訳が必要な方は3/18までに  
下記へご連絡ください。



【参加申し込み・お問い合わせ先】

障害者権利条約の批准と完全実施をめざす京都実行委員会女性部会(担当:香田・村田)

京都市南区東九条松田町 28 メゾングラス十条 101 JCIL 気付

TEL: 075-671-8484

FAX: 075-671-8418

E-mail: jcil@cream.plala.or.jp